

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果【令和5年度】

公表:令和 6 年 3 月 12 日

事業所名:光道園 こども支援センターえがお

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	14			・法令遵守したスペースは確保できています。活動の内容により部屋を分ける等の工夫をしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	4	3	・利用定員に対して基準以上の配置をしています。 ・感染症等時は他事業所からの応援にて対応しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	14			・お子さんの状態や状況によりエレベーターを活用しています。 ・視覚的に手順書やイラストを提示し、子ども達が自発的に行動する事が出来るように環境を整えています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	14			・全職員で振り返り等をおこなうことは難しかったため、リーダーを中心に業務改善に努めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	13	1		・保護者向けの評価を職員間で確認し、保護者の方の意向の改善に努めています。 (保護者交流会等については、ご意見を基にアンケートをとり計画、実施)
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	14			・事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表は法人ホームページ内で公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	9	・第三者による外部評価については受けておりません。今後、必要に応じて実施の検討をしております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12		2	・法人内の必須研修(虐待防止、身体拘束適正化、感染症対応、緊急時対応等)は全職員対象におこなっています。また、職種や経験に応じた専門的研修を受けています。
適切な 支援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	14			・放課後等デイサービス計画に沿った支援ができていないかを分析し、次の計画につなげています。モニタリング時には、利用児の思いや保護者等の意向を伺いアセスメントの更新をおこなっています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	13	1		・事業所独自のアセスメントシートにて、利用児の状態の変化等の把握をおこなっています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	11	2	1	・担当者が立案し準備をおこなっています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	12	2		・活動プログラムが固定化しないように努めていますが、プログラムの幅が狭く工夫できていないといえませんが。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	12	2		・平日については送迎等もあり細やかな支援が出来ていない日もあります。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
の 提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	14			・状況に応じて個別活動(放課後等デイサービス計画に沿って)をおこなっています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	6	1	・朝礼時に職員体制等を確認し、支援の内容や送迎等の分担をおこなっています。分担内容はノートや予定表に記載しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	5	1	・振り返りを毎回おこなうことは難しいこともありますが、緊急時は話し合いの時間を設けて対応しています。共通認識項目については朝礼時に報告し、連絡ノートに記載しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	13	1		・日々の支援については各個人の連絡ノートに記載しています。 ・放課後等デイサービス計画に沿った記録は、個人別記録をおこなっています。
適切な 支援の 提供	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	14			・定期的なモニタリングで、保護者の方と利用児の成長や課題を共有し計画につなげています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	12	2		・ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援をおこなっています。
関係 機関 や 保護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	14			・事業所からは児童発達支援管理責任者、担当保育士等、専門職(言語聴覚士、理学療法士、看護師)がサービス担当者会議に出席し情報共有しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	12	2		・年度初めに各学校への挨拶回り時に連携のお願いをしています。対応が学校により異なるので、今後も情報共有等の連携が得られるように努めていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6		8	・医療的ケアが必要な子どもは利用はありませんが、今後は適切な支援が提供できるように努めてまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	12	1	1	・同じ法人の事業所との情報共有や連携はとれています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	11	1	1	・同じ法人の事業所との情報共有や連携はとれています。全部の事業所に提出できていません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	4	1	・今年度はおこなえていませんが、今後は取り入れていけるよう努めてまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	10	・放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はありませんが、今後検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7	5	2	・自立支援協議会(育つ部会)の子どもの事業所等連絡会に参加し情報交換等をおこなっています。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12	2		・保護者の方へは連絡ノートやお迎え時にお伝えし、共有理解を持てるように努めています。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	8	3	3	・家族支援プログラムについては実施できていません。今後検討していきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	14			・重要事項等については契約時にお伝えしています。今後わかりやすく、丁寧な説明に努めてまいります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	14			・日頃は連絡帳でやりとりをおこなっています。また、随時の電話やメール、モニタリング時など適宜の対応に努めています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	12	1		・保護者の方の活動や交流等の思いやご意向を伺い、今年度は親子交流会を開催しました。
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14			・保護者の方からの苦情(ご意見)に迅速、適切な対応を心掛けてきました。今後は全職員が対応できるように体制を整えていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	14			・年間通して定期的に活動等の様子を「にこにこnews」「ほけん便り」等で発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	14			・個人情報取り扱いについては年度当初と、その都度同意を得ています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	14			・言語や視覚的ツール、メール等の様々なツール使って情報伝達をおこなっています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	3	7	・現在はおこなっていませんが、今後は地域住民と一緒に行事や勉強会等の開催を考えていきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10	3	1	・マニュアルを基に研修や実践をおこなっています。同敷地内にある事業所と連携しながら利用児の安全に努めていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	14			・火災を想定して避難訓練を職員のみや、利用児と一緒に実施しています。今後は災害に備えて水害、防犯、地震の訓練も検討していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	14			・全職員に年2回必須研修として虐待防止、身体拘束適正化研修をおこなっています。研修内容は講義や不適切支援等の事例をあげ、グループワークの中で職員それぞれの意見を述べ合う機会を作っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	14			・身体拘束については切迫性、非代替性、一時性であることを周知し、やむを得ない状況時には保護者に同意を得ておこなうこともあります。(放課後等デイサービス計画に記載)
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	14			・食物アレルギーに関しては、事業所様式(アレルギー管理指導表)にて医師に書面で指示をもらい、除去食などの対応をおこなっています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11	2	1	・事例集は作成していませんが、報告書を提出し情報共有をしています。また、危険を予知し事故に至らないように努めてまいります。	







|